平成29年度高松小学校グランドデザイン概要

学校教育目標　豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子どもを育成する。
～やさしい子　考える子　じょうぶな子～

イメージする学校像

しなやかにやわらかに**動く実感**のある学校

大人も子供も共有する理念

たのしい学校　**か**んがえる子供　**ま**ことの言葉　**つ**ながる心

重点目標

目標達成に向けた具体的方策

ゆたかな心
やわらかく豊かな「ことば」の環境を創る

1　子供のこころを揺り動かす言語環境を創る

(1)美しい日本語の音とリズムを楽しむ。詣んじ、味わう。
①月１課題の暗唱の取組、暗唱大会への出場を楽しむ。
②心に響く詩や名文と出会い、自らの声で表現する。
(2)日本一の音読をめざす。
聞き惚れるような音読名人を目指す。
(3)そのうち徳するうちどく、読書。
①うちどくコーナーの充実を図る。
②保護者ボランティアの力を生かして魅力ある読書空間を創る。
③百人一首クイーン・名人に挑戦する。

暗唱、音読、うちどく、古典、日本の伝統文化との出会い

2慈愛に満ちた言葉のシャワーを浴び身近な感動との出会いを創る

(1)褒めて褒めて育てる。
心地よい、慈しみ溢れる、やわらかい、温かい言葉で話しかけ子供の良さを認めて褒める。
(2)感動を味わい、夢を描く。
子供が身近で見つけた不思議や発見「おや？えっ？ほお！」の感動を見逃さず大切に育てる。ホンモノと出会い夢を描く。
(3)英語を楽しむ。
聞いて話してコミュニケーションしていく力を育む。

「たかまつマスト」の充実
①15分間モジュールタイム
(算.国.英語活動.防災学習:全学年)
②新教育課程に向け、英語活動を新たに月１回導入

確かな学力
心が揺り動く授業を希求し続ける

1　子供がまことの言葉で語りだす瞬間を探る

(1)教師がまず、あいうえおで聴く。
心を動かしながら、本気で聴き、子供の本然を推察し受け入れ洞察する。考えをつなぐ、広げる、深める教師のシゴトを。
(2)つぶやきにこそ、子供のまことがあることを知り大切にする。

子供の言葉を傾聴する教師の姿勢

2　子供も教師も心が揺り動く授業を追求する

(1)聴き方の「あいうえお」の浸透。

あ	あっ、そうか！
い	いいこと言うね！
う	う～ん、なるほど。
え	えっ？どういうこと？
お	おっと、そういう考え方があったか。

を浸透させ友達の発言を心を動かしながら聴く力を育む。
(2)授業者自身も子供も学びたいという「トキメキ」を感じる単元を創造する。

3　考えを磨き合い、より深い思考へと子供を導く

(1)教師の３つの力を磨く。
①感性　②単元構想力　③洞察力
(2)研究の視点
①「何ができるようにするのか」明確なねらいを設定する。
②「どのように学ぶのか」魅力ある単元構成を組む。
③より深い思考へと導く「的」を設定する。

授業で褒めて伸ばす・認め合う学び合う教室の空気を創る。

開かれた学校
地域・保護者と温かくつながる

1　「た・か・ま・つ」の教育理念を大人も子供も共有する

(1)育てたい子供像・創りたい学校像
たのしい学校　**か**んがえる子供
まことの言葉　**つ**ながる心
教職員、子供、保護者、地域の方みんなで共通理解する。
その達成を願って、力を合わせ考える、行動する、振り返る。

2　地域の学校として愛され大切にされる学校を創る

(1)気持ちの伝わる「あいさつ」を
①　児童会を核に心をつなぐあいさつ運動
(2)地域の人・もの・ことのチカラを
地域の学校・子供として愛され大切にされ、共に歩む。
①安全見守りは高松の宝
②先達先生の広がりを
・えほんくらぶ「ラパンさん」
・理科教育「横瀬　勤先生」
③土曜フェスタで地域が集う。
・共に集い、学び、親しむ。
(3)学校・学年・学級だよりで発信
教育の意図や子供の育ちを発信し、共有する。
(4)ボランティア活動の活性化
①図書ボランティア(読み聞かせ・司書・配架・図書室改造など)
②学習ボランティア(九九聞取り・探検調査活動サポートなど)

3　自分の命は自分で守る・ふるさと高松を守る力を育てる

(1)誰一人犠牲にならない！実効性のある「たかまつ防災・減災学習」を展開する。
(2)６年生手作りの防災ずきんを新１年生に贈り、思いをつなげる。

総合的な学習の時間で、子供の主体的・探究的な力を育む。

子供は未完のままで輝いて生きている。教師は、子供の未完の姿を愛おしみ慈しみながら、やわらかくしなやかに子供のまことに触れ、その育ちを助けていきたい。教育の目的の本質は豊かな人間の育成である。

「たかまつの子は日本一！！」を合言葉に、子供の人間を磨いていく。

和歌山市立高松小学校